

肥料価格高騰対策事業「化学肥料低減計画書」における「取組メニュー」の手引き 1.11版

徳之島地域総合営農推進本部

○取組みにあたって

- 取組みについては全てのほ場で実施しなくても良いですが、支援金の算定に用いた肥料を使用する作物で取組んでください。取組みの実施面積の規定はありませんが、既に取り組んでいる場合は、その面積を拡大すれば取組みの強化に該当します。(国 Q&A 問4-5)
(例)ばれいしょ 60a 作付けのうち、昨年まで 10a に堆肥散布、今年は 20a に散布
- 土壌診断は必ず 1 筆ごとに実施する必要はありません(国 Q&A 問4-8)
- 証拠書類は必ず5年間保存してください(詳細は今後国 Q&A で示される予定)
 - 実施時の写真をデジカメ(スマホ)で撮影し、削除せず必ず保存
堆肥散布時の様子、肥料・緑肥等の写真
 - 土壌診断の結果表

○主な品目別 取組みやすいメニュー一覧

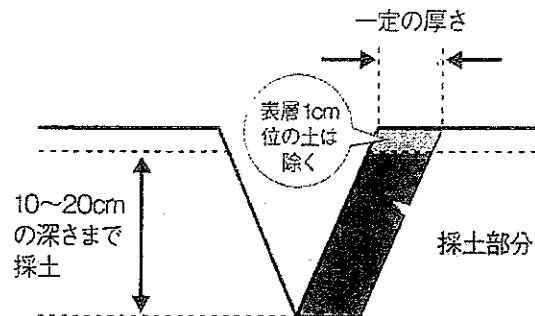
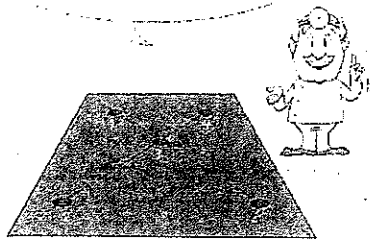
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
さとうきび	○		○	○								○		○	
飼料作	○			○			○							○	
ばれいしょ	○		○	○				○				○			
かぼちゃ	○			○				○							
実えんどう	○			○				○							
えだまめ	○			○				○							
さといも	○			○				○							
トマト	○			○				○							
たんかん	○			○			○								
マンゴー	○						○								
パッションフルーツ	○			○			○								
パパイヤ	○			○			○								
ピタヤ	○			○			○								
ソリダゴ	○			○											
トルコギキョウ	○			○		○		○							

1 品目共通事項

(1) 土壌診断による施肥設計(メニューのア)

- サンプルはイラストのように、ほ場の4隅と中央の5か所から採り、ポリ袋に入れて診断機関に依頼します。
- 診断機関からの結果を基に指導員から施肥設計の指導を受けてください。

サンプルは、中央と対角線の5か所から均一に採るんじやぞ



○各町土壌分析の概要

町	分析項目	分析可能点数
徳之島町 農業管理施設(花徳)	pH, EC, 苦土, 石灰, リン酸, 腐植, 中和石灰	最大 10 点/1日, 100 点/月(検査状況により多少変動有り)
天城町 農業研修センター	pH, EC, 苦土, 石灰, リン酸, 腐植, 中和石灰	最大 20 点/1日(検査状況により多少変動有り)
伊仙町 農業支援センター	pH, EC、りん酸、腐植	最大 20 件/1日

※土壌分析は各町とも臨時雇用または非専属職員のため、毎日作業は出来ない

(2) 堆肥の利用(メニューのエ)

土づくりのために堆肥を投入する際のポイントは以下の通りです。

- なるべく「牛ふん」の完熟堆肥を施用しましょう。「鶏ふん」は肥料的に働き、土づくりには不向きです。「豚ふん」は「牛ふん」と「鶏ふん」の中間的な効果があります。
- ばれいしょとマンゴーは注意が必要です(以下の個別技術確認)

(3) 緑肥作物の利用(メニューのク)

土壌の窒素分と大気中の炭素を吸い込んだ緑肥(有機物)をすき込む事によって、土づくり効果が図られます。また、ほ場を覆うことによって、雑草抑制効果や赤土流出防止効果が期待できます。今回の事業では、飼料刈り取り後、残渣すき込みをしたあとに作物を栽培する場合、「ク. 緑肥作物の利用」として申請できます(露地作物で利用可)。

○緑肥の一般的特徴(品種によっても異なりますので、別途確認してください)

種類	播種量(/10a)	土づくり以外の効果	すき込み時期	腐熟期間
エンバク (ヘイオーツ) イネ科	10Kg 程度	キタネグサレセンチ ユウの抑制効果	出穂前にすき込 めば、こぼれ種 対策になる。出 穂後は自然に枯 れて敷き草状態 になる。	3週間程度
ソルゴー イネ科	5Kg 程度	天敵類の保護 かぼちゃの敷き草	出穂前	次作までに3回 程度耕耘する
クロタリア マメ科	7~8Kg	窒素固定をすることで 減肥効果がある 有害線虫の抑制	開花期	2~3週間程度
ひまわり キク科	1~2Kg	強酸性ほ場でも生育 可能 リン酸吸収の改善	開花後速やかに すき込まないと分 解が遅れる	硬くなった場合 は数回耕耘する

- 各町の緑肥に対する補助がありますのでご活用ください
- 十分な土づくり効果が得られるよう、緑肥の生育期間を考慮して取り組んで下さい。
- ほ場を耕耘し、ばらまき、またはすじまきで播種する。播種後はロータリーでごく薄く耕耘し、鎮圧する。発芽率向上のポイントは鎮圧することです。
- 播種時の堆肥施用も合わせ技で効果的です。
- エンバクはロータリーでもすき込み可。硬い草種はフレールモア、ハンマーナイフ等で細断。
- すき込み後は数回ロータリー耕耘し、十分に腐熟させて下さい。

2 さとうきび

- (1) (ウ)野菜を前作とした輪作に取り組み、「ウ. 地域の低投入型の施肥設計」として申請できる。
- (2) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を2,000~4,000kg/10aが目安(さとうきび栽培指針より)
- (3) (シ)局所施肥:基肥を条施肥(畝にすじまき)する。
- (4) (セ)肥料銘柄の見直し:「さとうきび BB400」による省力施肥体系を採用した場合

3 飼料作

- (1) (キ)有機質肥料:牛舎の尿だめの貯留物は、液肥として使用可能。
- (2) (セ)肥料銘柄の見直し:以下の取り組みが可能

- 「オール14(NPK 14%,14%,14%)」から「べぶ500(NPK15%,10%,10%)」への変更

現状:収穫後の追肥で、オール14(N:P:K=14%14%14%)施肥
今後:年4回程度の収穫の中、1筆以上でべぶ500(N:P:K=15%10%10%)を施肥する。べぶ500の施肥量は現状でのN量/10a換算量に合わせる。
(例:現状オール14を40kg/10a施肥の時→今後の取組では、10a当たりのN量投入量を合わせるので、 $40\text{ kg} \times 14/15 \div 37\text{ kg}/10\text{a}$ 散布する→N量は同レベルだがP,Kは現状より削減される)

- 「べぶ500(NPK15%,10%,10%)」から「NK80(NPK18%,0%,0%)」への変更

現状:収穫後の追肥で、べぶ500(N:P:K=15%10%10%)を施肥
今後:年4回程度の収穫の中、1筆以上でNK80(N:P:K=18%0%10%)を施肥する。
(例:現状べぶ500を40kg/10a→今後NK80を $40\text{ kg} \times 12/18 \div 27\text{ kg}$ 散布→P,Kは現状より削減される)

- 「NK80(NPK18%,0%,10%)」から「尿素(NPK46%,0%,0%)」への変更

現状:NK80(N:P:K=18%0%10%)を施肥
今後:年4回程度の収穫の中、1筆以上で尿素(N:P:K=46%0%0%)を施肥する。
(例:現状NK80を40kg/10a→今後尿素を $40\text{ kg} \times 18/46 \div 16\text{ kg}$ 散布→P,Kは現状より削減される)

4 ばれいしょ

- (1) (ウ)地域低投入型肥料設計:「オール14」を100~120kg/10aが目安(春一番栽培基準より)
- (2) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を500~2,000kg/10aが目安(春一番栽培基準より)
 - 牛ふん堆肥を連用施用することで収量は高まる傾向にあるが、土壌pHの上昇により、そうか病を助長する場合がありますので注意し、施用量を適宜加減する。
- (3) (ク)緑肥
 - ばれいしょ終了後播種し、すき込み後、夏場耕耘する。ばれいしょ植付の少なくとも1

か月半以上前にはすき込みを完了し、十分に腐熟させる。

- 前作の飼料作物残渣のすき込みをした場合も「ク. 緑肥作物の利用」として申請できる。

(4) (シ)局所施肥:基肥を条施肥(畝にすじまき)する。

5 かぼちゃ

(1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を2,000Kg/10aが目安。播種の3週間前までに散布,耕耘する。(講習会資料より)

(2) (ク)緑肥

- 抑制かぼちゃは,前作終了後直ちに冬作としてエンバクを栽培し,すき込み後,夏場耕耘する。春かぼちゃ後は夏作としてソルゴーを栽培する。いずれも少なくとも栽培1ヶ月半以上前にはすき込みを完了し,十分に腐熟させる。
- ソルゴーは天敵昆虫の保護が期待できる。また,播種前の準備段階で緑肥を播種し,つるの伸びに合わせて順次刈り倒して敷き草としての利用や,防風対策等,利用価値あり。
- 前作の飼料作物残渣のすき込みをした場合も「ク. 緑肥作物の利用」として申請できる。

6 実えんどう

(1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を2,000kg/10aが目安(栽培基準より)

(2) (ク)緑肥

- 春先にはほ場を選定し,緑肥を播種する。すき込み後,夏場耕耘する。実えんどう播種の少なくとも1か月半以上前にはすき込みが完了し,十分に腐熟させる。
- 前作の飼料作物残渣のすき込みをした場合も「ク. 緑肥作物の利用」として申請できる。

7 えだまめ

(1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を1,500kg/10aが目安(栽培基準より)

- 窒素過剰になると落花や空莢が増えるため,土壤分析結果に基づき施用量を加減する。

(2) (ク)緑肥

- 緑肥を播種・すき込み後,夏場耕耘する。えだまめ播種の少なくとも1か月半以上前にはすき込みを完了し,十分に腐熟させる。
- 前作の飼料作物残渣のすき込みをした場合も「ク. 緑肥作物の利用」として申請できる。

8 さといも

(1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を2,000kg/10aが目安(栽培基準より)

(2) (ク)緑肥

- 春先にはほ場を選定し,緑肥を播種する。すき込み後,夏場耕耘する。さといも植付の少なくとも1か月半以上前にはすき込みを完了し,十分に腐熟させる。
- 前作の飼料作物残渣のすき込みをした場合も「ク. 緑肥作物の利用」として申請できる。

9 トマト

- (1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を 3,000kg(抑制作型は 2,000kg)/10a が目安(栽培基準より)
- (2) (ク)緑肥
 - 緑肥を播種・すき込み後,夏場耕耘する。トマト定植の少なくとも1か月半以上前にはすき込みを完了し,十分に腐熟させる。

10 マンゴー

- (1) (キ)有機質肥料:「アグリッチ」の利用

※牛ふん堆肥は花芽分化へ影響するおそれがあるため,推奨しない

11 たんかん, パッションフルーツ, パパイア, ピタヤ(ドラゴンフルーツ)

- (1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を 2,000Kg/10a が目安。散布,中耕する
- (2) (キ)有機質肥料:「アグリッチ」の利用

12 ソリダゴ

- (1) (エ)堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を 2,000Kg/10a が目安

13 トルコギキョウ

- (1) (エ)堆肥:堆肥:完熟堆肥(牛ふん)を 2,000Kg/10a が目安(栽培基準より)
- (2) (カ)食品残渣など国内資源の利用:焼酎かす(特殊肥料)を用いた土壌還元消毒の実施
 - ア 作終了後~8月まで実施
 - イ 処理後1ヶ月以上の放置期間が必要
 - ウ 必ず土壌分析を行うこと
 - エ 実施にあたっては,各町役場,農業普及課に事前にご相談ください。
- (3)(ク)緑肥
 - 6月末までに緑肥を播種する。8月上旬にすき込み後,夏場耕耘する。トルコギキョウ定植の少なくとも1か月半以上前にはすき込みを完了し,十分に腐熟させる。

○各町助成制度の概要(詳細は各町へお問い合わせ下さい)

徳之島町	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥助成 【バラ堆肥】※園芸 農家負担額:3,000円(2t~4t/10a・散布込み・500tまで(町負担:6000円)) 【バラ堆肥】※春植え 農家負担額:3,000円(2t~4t/10a・散布込み・1000tまで(町負担:6000円)) 【バラ堆肥】※夏植え 農家負担額:3,000円(2t~4t/10a・散布込み・500tまで(町負担:6000円)) 【袋堆肥】※さとうきび・園芸 農家負担:180円(15kg・7000袋まで) (町負担:105円) ・緑肥助成 【クロタラリア】300円×5kg/10a×4ha(半額助成) 【ヒマワリ】1,100円×2kg/10a×5ha(半額助成) 【ヘイオーツ】400円×5kg/10a×5ha(半額助成)
天城町	<ul style="list-style-type: none"> ・緑肥助成 種子の購入費及び、ストローチョッパー費用の50%補助 ※原則チョッパーまで併せて申請した場合に対して補助 (飼料用に購入した場合は対象外) ・堆肥助成 購入費の50%補助+農協10%(園芸、キビで補助量の違い有り) ・土壌改良資材補助 購入費の40%+農協10%
伊仙町	<ul style="list-style-type: none"> ・緑肥助成 種子の購入費補助 (ソルゴー・ひまわり・クロタラリア) 農家50%、町30%(町単)、南西糖業10%、農協10% ※令和5年1月頃~実施予定。 ・堆肥助成 「環境にやさしい農業総合推進事業」 農家負担額:10,000円(3t/10a・散布込み) 対象面積:30ha(全作物対象)

○取組メニューに関してのお問い合わせはこちらへ

問合せ先	連絡先	問い合わせ内容
徳之島町農林水産課	(直通)82-1150	各種補助制度
徳之島町農業管理施設	81-6312	土壌分析の依頼
天城町農政課	(直通)85-5257	各種補助制度
天城町農業センター	(直通)85-2214	土壌分析の依頼
伊仙町経済課	(代表)86-3111	各種補助制度
伊仙町農業支援センター	(直通)86-2711	土壌分析の依頼
JA あまみ徳之島事業本部	(購買)82-2233	肥料・種子・資材関係
JA あまみ天城事業本部	(購買)85-4115	堆肥・肥料・種子・資材関係
徳之島事務所農業普及課	82-0323	栽培・肥培管理等

※この冊子の内容は新たな情報の発出により更新されることがありますので、ご注意ください。

【1. 1版の主な変更点】

- さとうきびの野菜との輪作 ソ→ウ の変更 (R4.11.7 経営技術課事務連絡)
- さとうきびの施肥銘柄見直しの追加 (R4.11.9 農業開発総合センター普及情報課確認)

【1. 11版の変更点】

- 伊仙町の堆肥助成を一部修正